

湖畔の風

★ 保健推進員表彰 菅原清子さん(小倉)



この度、菅原清子さん(小倉)が、長きにわたり、保健活動住民組織員として勤めた功績により、岩手県保健推進委員等代表協議会より、表彰されました。

保健推進員は、地域の健康づくりを推進すると共に、市の保健事業に協力、参加しています。

長い間にはたくさんのご苦勞もあったことと思いますが、これからも引き続き、田瀬地域の健康づくりのため、よろしくお願いいたします。



このほど、グラウンドのダム側、崖の木の伐採と刈り払いをし、景観の整備を行いました。



伐採前



伐採作業中



伐採後、ダム湖が見渡せるようになりました。

8月5日(日)川の生態調査をおこないます

岩手県の環境アドバイザーを講師に「白土川」の生態調査を行います。
川の生き物・住む魚や昆虫の種類により、水質を判定することができます。
(きれいな水、少しきたない水、きたない水、大変きたない水など)

日時：令和5年8月5日(土) 9時～12時ごろまで

集合場所：スクールバス上白土バス停付近

※子ども会が中心となりますが、関心のある方はご参加ください。



お問合せ 田瀬地域コミュニティ会議 電話/Fax 0198-44-5281

間もなく78回目の終戦記念日を迎えます。私どもは心ならずも肉親を戦地に送り、敗戦という不幸なことになりましたが、戦後78年の私たちは平和な豊かな日々を送っております。

このことは、とりもなおさず、あの過去の大戦において、この美しい郷土や最愛の妻子や家族を守らんとして、悲しくも遠い異国の地で散っていった英霊の尊い生命の代償にほかなりません。

先ごろ、ある遺族の遺品を整理していた方から、戦地から送られてきた戦死された夫からの十数枚のハガキを借りることができました。昭和19年7月22日ニューギニアで戦死された伊藤喜代助さん(小倉の伊藤功さんの父)のもです。田瀬では農業の傍ら鳩子沢にあった鉦山で働いていて昭和16年に出征、最初は満州国牡丹江でソ連軍の侵攻防御の任務だったようです。満州第5244部隊嶋谷隊。「来たときは16貫だったが1貫以上増えて顔も丸くなった。日向さまの葺き替え手伝えず残念」(16年4月9日)。「小倉婦人会から慰問品、有難く感謝。東亜永遠の平和、世界人類の幸福のため一兵卒の私も頑張ります」(16年5月21日、ノブ宛)。この頃、南海派遣部隊の佐々木良治(喜代助の従弟、中通)さんから、「元気に日夜軍務を精励している。皆さまの健康を祈る」(16年?喜代助、ノブ宛て)。喜代助さんの出征を知らない。「功は皆さまからのご厚情により全快、一人で立ち上がり喜んで要る由、私も当地で喜んで」(功は2歳のころ大病に罹り、母ノブの輸血で回復したことがあった。16年11月23日、ノブ宛)。「私は益々元気で大陸で一意奮闘いたして居る。功君に風邪をひかせぬよう、お前も無理せぬよう留守を頼む」(17年、ノブ宛)。「親子とも元気で何より、当地は寒いが身体が慣れてきているので心配ない。功は5歳か。」(17年、功、ノブ宛、この時初めて息子宛)。この後、ニューギニアに派遣か。

ニューギニアは、日本から5000キロ、オーストラリアの北側に位置する島で、日本軍は昭和17年3月には上陸をしている。

朝倉門十郎(築館)さんより「日増しに寒さが加わります。ご主人様より便りはありますか。南の国へ出発した由、北満の地より武運を祈ります」(17年か、ノブ宛この頃、留守宅は南方派遣を知らない)。「月に一度の便りもあつたりなかつたり、功ボーは6歳になったからね。多忙にまぎれ大事な子どもの教育を忘れてはならぬ」(18年、ノブ宛)。差出地は南海派遣猛5244部隊陸軍中尉鈴木古夫隊とある。猛部隊は第18軍で安達二十三中将指令官、18年6月に上陸しているからニューギニアに着任後のハガキ。「功は元気で何よりだ。大事に育ててください。暗くてペン先も見えぬ、乱筆にて失礼、当地は夏」(18年、ノブ宛)。「人事を尽くして天命を待つということだ。何事も安心ということだ。安心の有る者は騒ぎもせず、恨みもせず、悲しみも怒りもない。安心とは自分のすべきことをして、そのあとは神さまに任せたい心持であると思う。つらい悲しいと思わず、元気に神の指図を思い、強く正しくが良い。留守をよろしく頼む。こ



伊藤喜代助さん
小倉 伊藤功さんの父

の寒い時節もやがて百花爛漫の春が来るだろう」(18年11月6日、ノブ宛)。このころから戦争は激しくなり、特にニューギニア戦線は北のアッツ島南のビアク島と言われたくらいの激戦地、ビアク島はニューギニア西部で日本が飛行場建設をめざした最大の島。19年6月に救援に向かったが上陸できず、ビアク島の日本軍は玉砕した。(アッツ島玉砕は18年5月29日)喜代助さんの戦死は19年7月22日、ニューギニア本島のマンデーだったという。

(北満の地から武運を祈った門十郎さんは、終戦後ソ連に抑留されシベリアで21年に亡くなった。良治さんはニューギニア東部で18年3月2日戦死。)

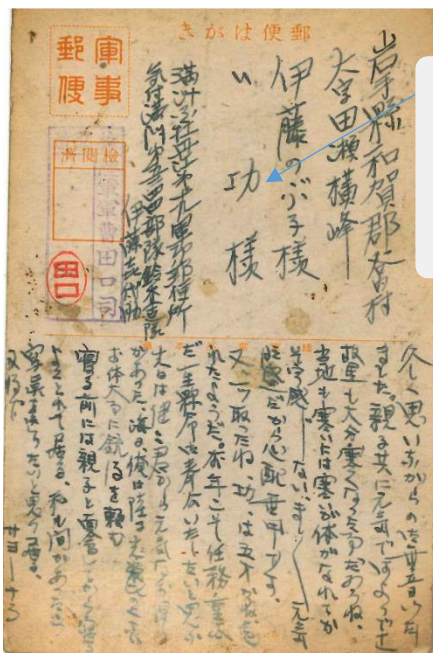
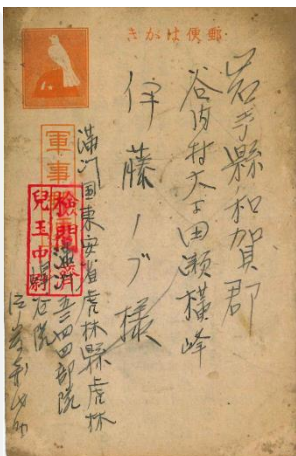
このような戦況下にあっても、息子や留守家族を思う喜代助さんの手紙は尊い。既に両親を亡くし、出征の前年には長女を亡くし、妻・ノブを一人残してきた喜代助さんには田瀬の家が気がかりであったのでしょうか。手紙の節々に市之助さんや堤家など地域の人への感謝の言葉が見られます。特に、最後と思われる手紙は禅僧の「さとりの境地」のような文で、遺族への遺言かと思うような内容で心を打たれます。

※軍事郵便のためか、年号の記載はなく月日のみ、検閲の為一部黒塗り部分もあった。年号は編集部が推測。

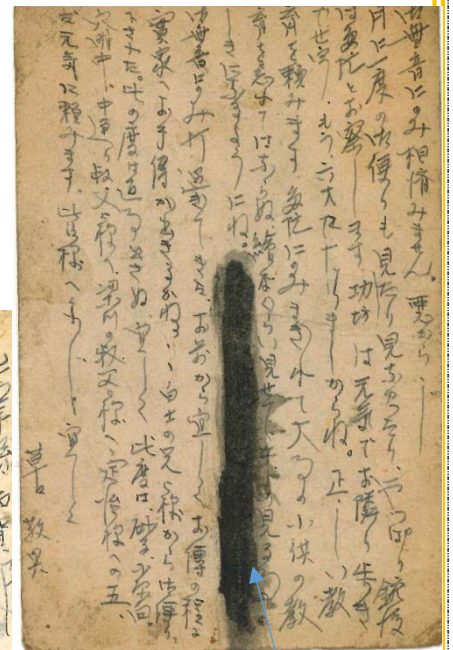
※戦後の遺骨収集団・昭和47年10月5日に喜代助さんと同じ部隊で生還した一関出身の吉田さんが同行、最後の地がニューギニアのマンデーだったことが判明した。

※先の大戦で田瀬出身者の戦死者は53名、内、ニューギニアは11名。1軒から2名もの戦死者を出した家も複数ある。

差出地が満洲のハガキ。検閲済みの印あり



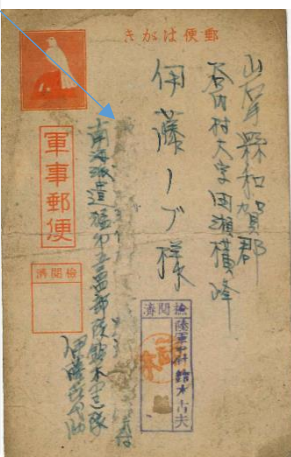
はじめて息子宛て



まるで遺言のような文面

検閲により文字が墨で塗られている

ニューギニアの差出地か？検閲で消されている



○資源ごみの搬入について

令和5年度より資源ごみは業者に直接搬入となっております。第2回の搬入を8月8日(火)に行います。

ご家庭に資源ごみのある方は6日(日)までに、それぞれ地域の指定の場所にお持ちくださいますようお願いいたします。

第3回は12月5日(火)を予定しておりますので、地域の皆さまのご協力をお願いいたします。

回収した資源の代金と市からの報奨金は3地区に配分されます。

田瀬地域資源回収推進協議会



空き缶にゴミの入ったものは収集できません。燃やせないゴミとして出してください。アルミ缶、スチール缶等の分別にご協力ください。分ければ資源！

○市政懇談会が開催されます

花巻市では市民のみなさんとの協働のまちづくりを進めていくため、コミュニティ地区ごとに市長又は副市長が地域に伺い、まちづくりへの意見や地域が抱える課題などについて懇談します。

田瀬地域コミュニティ会議では下記の通りです。

日時：8月4日(金)午後6時より

場所：田瀬振興センター

- 懇談会はおよそ1時間30分程度を予定しております。
- 事前に参加の申し込み等は不要です。

8月の行事予定

- 市政懇談会 8月4日(金)午後6時～
- 川崎市サマーキャンプ交流会 8月2日(水)～4日(金)
- 川の生態調査〈白土川〉 8月5日(土)9時
- 第32回グランドゴルフ大会 8月6日(日)8時

9月の行事予定

- 各地区敬老会
- 田瀬のみのりまつり



諸事情により、変更になることがあります。ご了承ください。

田瀬地区の人口

(令和5年6月末現在)

行政区	世帯数	人数			比較 (5月末)
		男	女	計	
田瀬第1	68	81	90	171	—
田瀬第2	29	33	34	67	1人増
田瀬第3	72	73	87	160	2人増
計	169	187	211	398	3人増

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています。



すべてのお問合わせ先

田瀬地域コミュニティ会議 事務局電話 44-5281まで